

日本ASEAN友好協力50周年記念国際シンポジウム  
オープニングでの林外務大臣のビデオメッセージ（和文）

2023年2月13日

日本とASEANの皆様、ご来賓の皆様、参加者の皆様。今般の日本ASEAN友好協力50周年を記念するイベントのためにご挨拶をする機会を頂き光栄に存じます。

日本は、世界に先んじてASEANのパートナーとなりました。それから半世紀、日本とASEANは、緊密なビジネス・パートナーとしてのみならず、心と心の繋がる真の友人として、困難にあるときも互いに手と手を取り合い、地域の平和と安定、繁栄のために協力してきました。

ASEAN諸国の飛躍的な発展にも後押しされ、今や我々の地域は、拡大を続ける世界経済の中心になりました。世界を見渡すと、時代の転換点を迎え、ロシアのウクライナ侵略をはじめ様々な問題が複雑に絡み合う難しい状況にあります。日本とASEANが、相互の信頼と尊重に根差し、多様性と包摂性を重んじながら共に成長を続け、新たな時代を牽引していくことが重要です。

本年12月を目途に、日本とASEANは、50周年の機会を捉え東京で特別首脳会議を開催します。その際に、極めて重要な時期にある国際情勢も踏まえつつ、次の50年に向けた新たな協力ビジョンを共に発表します。

また、日本は「自由で開かれたインド太平洋（FOIP）」、ASEANは「インド太平洋に関するASEANアウトック（AOIP）」を打ち出しました。開放性、透明性、包摂性、国際法の尊重などの双方が共有する原則は、新たな時代においてこそ重要な考え方であり、これらの原則を基礎とする日本とASEANの緊密な協力は、益々重要となっています。

法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に貢献するため、ASEANとすべての域外諸国との協力において、AOIPを主流化していかなければなりません。

これを率先して支える日本のAOIP主流化支援は、三つの柱から成ります。

一つ目として、AOIPの優先4分野である、海洋協力、連結性、SDGs、経済等に沿った具体的協力を進めます。日本が今春策定予定の新たなFOIPプランも踏まえ、かつ、50周年で発出する新たなビジョンを実施する具体的案件を、ASEANと共に特定し、特別首脳会議の際に打ち出すことを目指します。

二つ目は、AOIP推進及び主流化のための、ASEANの事務局機能の支援を進めます。事務局の能力強化のための技術支援も検討していきます。

三つ目は、AOIPに焦点を当てる形で、ASEAN各国の若手公務員の育成支援を行います。既存のASEANのプログラムへの支援や研修の実施のための新たなプログラムの立ち上げも検討していきます。

日本は、50周年のこの機会に、ASEAN側とよく対話し、ニーズをよく踏まえながら、これらの取組を力強く推進していきます。

「輝ける友情、輝ける機会」。まさにこの50周年のキャッチフレーズが日本とASEANの関係を表しています。日本は、ASEANの皆様と共に新たな時代を牽引し、共に成長できるよう、新たな歩みをすすめていきたいと思っております。本日ご臨席の皆様にも、日本とASEANの更なる関係強化のために、引き続きご支援をいただければ幸いです。ありがとうございました。